

マングローブの森づくりと人づくり



社員や代理店が植林ボランティアに参加 (タイ)

東京海上日動は、保険本業を通じてお客様に「安心と安全」をお届けし、豊かで快適な暮らしと社会の発展に貢献することを経営理念に掲げ企業活動をおこなっている。そして、社会とともに持続的に発展していくことが社会に対する責任を果たすことと考え、国内外でさまざまな取り組みを展開している。

未来の地球を守るために

1999年に旧東京海上の創業120周年を記念して、東南アジア5カ国(タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン、ミャンマー)においてマングローブ植林を開始した。記念事業として社会に還元できることはないだろうかと思われ、社員・代理店に広くアイデアを募ったところ、「地球環境保護の分野で長く将来に貢献でき、社員や代理店がボランティアとして参加できるもの」という声が多く寄せられたことがきっかけとなった。

マングローブは、海の干潟や河口部に育つ100種類以上の植物の総称で、世界の熱帯・亜熱帯に広く分布している。多くの二酸化炭素を吸収して地球温暖化の防止に役立つとともに、津波などから人々を守る防波堤の役割を果たす。また、水産・

東京海上日動火災保険(株) 経営企画部CSR室

担当課長 高島恵子

森林資源など、地域住民の生活に欠かせない物資を提供しているが、近年東南アジアでは、エビの養殖池への転換、工場・道路の建設、製炭用材のため、マングローブの大規模な伐採が進んでいた。そこで東京海上日動は、この地域にマングローブの森を復活させ、さらに自社の事業活動で排出する二酸化炭素の量を吸収し得る規模の植林をしたいと考え、植林に実績のある国際的NGOの「オイスカ」、「マングローブ植林行動計画」をパートナーとして植林事業を開始した。2004年度までの第1期プロジェクトでは3444ヘクタールの植林をおこない、現在は、東南アジア5カ国にフィジーを加えた6カ国で2000ヘクタールの植林をおこなう第2期プロジェクトが進行中である。

植林で芽生える環境意識

植林は、普段はNGOに委託して現地の人たちがおこなっているが、年に1~2回、社員・代理店やその家族などが「ボランティアツアー」を組み植林地を訪れ、酷暑・多湿の状況の下、現地の人々とともに植林をおこない国際交流も図ってい



植林地へ、いざ出発!



現地の人々と交流する社員や代理店

る。現在までにツアーは8回開催し、約250名が参加した。現地を訪れることで地球環境保護の大切さを学び、参加者の多くはこれからも社会に貢献し続けていきたいという気持ちが芽生え、日本に戻ると職場で植林の体験やマングローブの素晴らしさを語り、自ら率先して環境保護にかかわる活動のけん引役を担うなど、その後の行動も変わっていく。

そして現地の人々にとっても、遠い日本からマングローブを植えにくる社員・代理店、その家族との交流や、また2004年12月に発生したスマトラ島沖地震インド洋大津波で植林をおこなったマングローブの森の後ろにある村が津波から守られたという経験から、マングローブに対する理解が一層深まり、植林への参画意識が高まっている。

みどりの授業～マングローブ物語

このマングローブ事業に関連して、2005年度から国内でおこなっているのが「みどりの授業～マングローブ物語～」という地球環境教育プログラムである。社員、代理店が講師となって学校を訪問し、総合学習の時間に「地球温暖化防止」、「生態系保護」をテーマとした授業をおこなっている。

このプログラムは2005年10月に東京海上日動の合併1周年を記念して始め、これまでに全国約100の小学校・特別支援学校で、約8000名の子どもたちが授業を受けている。授業の内容は、東京海上日動のグローバルな環境保護活動である「マングローブ植林」と、身近な活動である「女

子社員の制服のリサイクル」を題材としている。マングローブの美しく鮮やかな映像や写真、マングローブの種などに直接触れながら、社員・代理店などが植林の体験談を取り入れて、子どもたちが地球環境保護について考え、行動していくきっかけをつくっている。訪問の際には、女子社員の制服をリサイクルして作成した「自然にかえる植木鉢」をプレゼントし、エコサイクルと資源の有効活用について子どもたちと一緒に考える。

この授業を通じて、講師を務めた社員や代理店は日本国内だけではなく海外も含めた地域で社会に貢献できる取り組みをしている自らの会社を誇りに思い、仕事に対するモチベーションも向上して組織の活性化にもつながるといったさまざまな波及効果が生まれている。

このようにマングローブ植林事業は、さまざまな地域で「森づくりから人づくり」へとその輪が広がっている。東京海上日動は、こうした人々の生活に重要な役割を果たしてくれるマングローブの植林を、100年続けていくことを目指して現在取り組んでいる。



「みどりの授業」、みんなで「環境」を考える

東京海上日動は「地域・社会の皆様とともにあること」を行動で示すことが大切であると考え、マングローブ植林のほかにも世界各地で地域に根ざしたさまざまな社会貢献活動をおこなってきた。今後もこうした取り組みを通じて社会にさまざまな価値を創造し、地域・社会から信頼され続けるよう努めていきたいと考えている。 ■

◆東京海上日動の環境・社会貢献活動
[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/
company/society/](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/society/)